

議 事 録

会議の名称	令和6年度第2回岩倉市環境審議会
開催日時	令和7年1月29日（水）午後2時から午後3時15分まで
開催場所	市役所7階 会議室7
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：千頭会長、賀田野委員、川田委員、寺澤委員、早川委員、 山内委員、奥田委員、三輪委員、若園委員、花井委員、 大矢委員 欠席委員：岸委員 事務局：市民協働部長、環境政策課長、都市整備課長、清掃事務所長、 さくら・川・環境グループ長、同主任、計画営繕グループ長、 同主査
会議の議題	1 あいさつ 2 議題 （1）審議事項 保護樹の解除について （2）報告事項 ①プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化（資源化）に ついて ②五条川自然再生整備等基本計画の進捗等の報告について ③ゼロカーボンシティ推進に向けた取り組みについて ④協定（災害廃棄物・環境保全）について 3 その他
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
会議に提出された 資料の名称	・次第 ・保護樹の解除について〔資料1〕 ・プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化（資源化）について 〔資料2〕 ・五条川自然再生整備等基本計画の施策進捗状況一覧〔資料3〕 ・ゼロカーボンシティ推進に向けた取り組みについて〔資料4〕 ・災害時における廃棄物の収集運搬等に関する協定の締結について 〔資料5-1〕 ・川井野寄工業団地内における環境保全協定書の締結について 〔資料5-2〕 ・五条川自然再生整備等基本計画（概要版） ・いわくらゼロカーボン事業者認証制度パンフレット
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

会長あいさつ

2 議題

（1）審議事項

保護樹の解除について

都市整備課から前回の議事内容について、委員から指摘のあった点（樹種の相異）を再確認した結果、相異がなかった旨を報告。

保護樹の解除1件について都市整備課から説明。当該樹木は樹勢診断の結果、倒木の危険性があるため、1月22日に緊急伐採済み。

会 長：当該地（神明生田神社）は地域の人が管理しているものか。

事務局：地域（下本町区）から選出された氏子が管理している。

会 長：保護樹は減っていく一方のように感じるが、今後新たに増える見込みはあるか。

事務局：前は新規指定もあった。1本でも増えるように、小学校でチラシを配るなど、周知啓発に努めている。

→審議事項について承認

（2）報告事項

①プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化（資源化）について
環境政策課から説明。

山内委員：プラスチックの再資源化はCO2削減にもつながる。再資源化量を把握できるか。

事務局：現状、把握していない。

会 長：一定期間、例えば一年ほど経過した際に確認できると良い。

花井委員：プラスチックを再資源化する施設は市が持っているのか。それとも小牧岩倉エコルセンターで行うのか。

事務局：市では持っていない。小牧岩倉エコルセンターではなく、県外の施設に持ち込む。

花井委員：現在と比べてコストはどうか。

事務局：処理コストは増える見込みである。

会 長：名称は「プラスチック製容器包装資源」から「プラスチック資源」に変わるということでしょうか。

事務局：そのとおり。今後新しく作るゴミ袋の表記についても変更する。

会 長：ハンディファンなど、リチウムイオン電池などが含まれた製品の誤分別の恐れがあるが、対策は考えているか。

事務局：広報2月号の特集記事及び3月号の同時配布チラシに、「プラスチック資源」として出せないものとして、強調して記載するなど、周知に努める。

早川委員：外国語対応はどのようか。

事務局：集積場に新たに設置する分別看板には、英語とポルトガル語の2か国語を併記する。加えて、近年増えているベトナム人への周知も必要なため、来年度はベトナム語も作

成予定。また、ゴミの分別アプリや周知パンフレットも対応していく。

早川委員：収集日が変わることによる、収集日を間違えたゴミ出しへの対応についてはどうか。

事務局：制度開始後しばらくは、収集日を間違えたゴミ出しが発生すると予想される。

現状では残置しているが、制度が浸透するまでは、柔軟な対応に努める。

会長：他の自治体では、可燃の収集車とプラスチック資源の収集車が同じであったため、同じ処理のされ方をすると思われ、分別しても意味がないのでは、と誤った認識が広まってしまった事例がある。収集車の表記を変えるなどの工夫をした方がよいかもしれない。

②五条川自然再生整備等基本計画の進捗等の報告について

環境政策課から報告。

三輪委員：五条川の活動にかかわるものとして、人材育成に努めることは大切だと思うので力を入れていきたい。また、少しずつ関わる人が減っているように感じるので、参加しやすい環境づくりにも努めたい。

奥田委員：計画に記載されている内容だけでなく、新たな課題も発生していると考えている。

そういった課題をすくい上げるため、ヒアリングや情報収集に努めてほしい。

また、より効果的に事業を実施するために市の予算措置についても考えてほしい。

会長：人材育成の観点から、新たな担い手の候補である岩倉ボランティアサークルの五条川についての関心はどうか。

事務局：岩倉ボランティアサークルは今年度の環境フェアにおいて、五条川をテーマにしたブースを出展しており関心は高いと思われる。

早川委員：岩倉市の環境問題というと五条川に目が向きがちだが、街路樹の管理など、五条川以外の環境問題についても目を向けてほしい。

会長：今回は議題が五条川自然再生整備等基本計画のことであるため、五条川に関する環境問題について説明がありました。来年度の会議では、環境基本計画の進捗管理についての議題もあるので、その中で市の環境問題全般について説明されると思う。

③ゼロカーボンシティ推進に向けた取り組みについて

環境政策課から報告。

花井委員：ゼロカーボンバスツアーにおける大野市での桜の植樹は、岩倉市の事業としておこなったのか。

事務局：岩倉市の事業として行った。桜の苗木については岩倉市の予算を使い、大野市に用意してもらった。

④協定（災害廃棄物・環境保全）について

環境政策課から報告

（環境保全協定について）

会長：協定内容の中に市の立ち入り調査権は含まれているか。

事務局：含まれている。

会 長：協定を結んだ企業で行っている目新しい取組があれば、環境審議会場で報告をお願いしたい。

(災害廃棄物協定について)

花井委員：災害廃棄物の仮置場は市内にあるのか。

事 務 局：岩倉市では災害廃棄物処理計画を定めていて、その計画では、「野寄スポーツ広場」が仮置場の候補地となっている。

花井委員：仮置き場までは市民が持っていくのか。

事 務 局：発災の規模にもよるが、発災後の具体的な動きについては、収集業者と打ち合わせを重ねながら、今後検討していく。

3 その他

- ・賀田野委員から PFAS・PFOS について、市民が安心できるように進展があり次第、周知に努めてほしいと要望があった。
- ・2年任期の本年度が1年目であるため、来年度も引き続き委員をお願いすること及び次回は令和7年7月頃の開催を予定していることを事務局から報告。